

LA-7000 series

高機能騒音計

ONOSOKKI

Listen, measure, and identify the sound.



LA-7500 Class 1



LA-7700 Class 1



LA-7200 Class 2

LA-7000 series

高機能騒音計

LA-7000シリーズは騒音レベル測定その他、音の収録、周波数分析・音質評価等が可能です。収録データは、現象の再現性の確認や測定した音の社内共有に役立ちます。収録できているか騒音計本体で音を聞きながら確認することができるため、失敗の許されない測定現場での確実な作業に貢献します。

LA-7000 動画
操作イメージLA-7000
Promotion Movie

高感度タイプ。無響室などで、小さな音を測定する方にお薦めです。

LA-7700 サウンドレベルメータ クラス1

価格 ¥550,000 (税抜き)

測定周波数範囲	10 Hz~20 kHz
測定レベル範囲 (JIS, IEC) A:	20~128 dB
自己雑音レベル	A: 12 dB以下

広帯域タイプ。超低周波音から可聴域を測定する方にお薦めです。

LA-7500 サウンドレベルメータ クラス1

価格 ¥367,000 (税抜き)

測定周波数範囲	10 Hz~20 kHz
	1 Hz~20 kHz (超低周波機能有効時)
測定レベル範囲 (JIS, IEC) A:	24~138 dB
自己雑音レベル	A: 16 dB以下

高機能な環境騒音測定を行う方にお薦めです。

LA-7200 サウンドレベルメータ クラス2

価格 ¥294,000 (税抜き)

測定周波数範囲	10 Hz~8 kHz
測定レベル範囲 (JIS, IEC) A:	23~138 dB
自己雑音レベル	A: 17 dB以下

特長

分かりやすい

4.3インチのカラー液晶

重ね書き表示も明快に出来ます。レンジオーバーを赤色で警告します (瞬時オーバーは、バークラフが赤色になり測定の履歴としてOVERの文字が結果表示されます)。

収録スタートもタップ1つ

演算データやレコーディングが、 スタート (自動メモリ保存用) を1タップすることにより開始されます。

リスニング機能搭載

マイク (騒音計) を音が大きく聞こえる方へ向けることで数値だけではなく聞きながら音を実感できます。さらに、気になる音がある場合はバンドフィルタを通し、その音が聞こえるバンドに設定するとさらにクリアに聞き分けることができます。簡易的な音源探索に有効です。(機能ページ参照)

持ちやすい

ハンドストラップ 付属

測定使用時に本体落下を未然に防ぎます。

サイズダウン

前機種種の35%小型化を実現しました。
※手の小さい方にもやさしい設計、持ちやすさを追求したデザイン



使いやすい

タッチパネルで直感的な操作 変えたいところをタップ

初めて騒音計に触れる方にも分かりやすい操作です。演算切替、レンジ切替、測定時間など、表示をタップすることにより変更が可能です。

日本語切替表示

英語/日本語の表示切替が可能です。
メニュー画面やメッセージが分かりやすくなりました。

USBからの給電が可能、長時間計測を実現

アルカリ電池 約12時間 (モードによる)。USBバスパワーの採用により、長時間測定を実現。電池、USBを併用した場合、USB給電が優先され、切断されると電池からの給電に切り替ります。

防風 (ウィンド) スクリーン補正機能

防風 (ウィンド) スクリーンを使用して測定する場合、装着の影響を補正することができます。
※但し、装着時でもIEC61672-1に適合しています。
補正をしないでご使用することも可能です。

画面撮りに便利なキャプチャ機能

電源キーとホームキーを同時に押すと画面がキャプチャされます。

ホームキーの搭載 わからなくなった時に便利

ホームキーを押すと基本画面に戻ります。

外部電源ON/OFF機能

LA-7000を装置に組込使用し外部電源と連動させON/OFFする場合、スイッチ切替で可能となります。
※この場合、電池を抜いてご使用ください。

キーロック機能

ホームを長押しします。

機能追加で騒音計1台で周波数分析や音の収録が可能となり、測定作業の効率を向上させることができます。
騒音レベルのみではなく周波数特性を把握することで、原因究明に繋がります。

標準機能



DUALモード、QUADモード

異なる周波数重み付け特性や時間重み付け特性の組み合わせで同時に2つ(DUAL)、4つ(QUAD)の演算値を表示することができます。複数の重み付け特性をとる場合に有効です。

リスニング機能(Phone出力)

音を聞きながら計測が可能です。

- 無響室での測定や遠隔場所の測定に有効
- 環境騒音などで遠隔場所の監視などに有効

※延長ケーブル、ヘッドホンは、別売となります。

1/1オクターブバンド分析機能

適合規格: IEC 61260-1:2014 Class1/JIS C 1513-1:2020 クラス1

分析バンド: 16 Hz~16 kHz (11バンド), Allpass 1,2

※超低周波機能有効時は、1 Hz~16 kHz (15バンド) [リストのみ], Allpass 1,2

Filter 1/1モード: オクターブバンドフィルタを通した音を聞くことで、騒がしい現場でも気になる音だけを聞くことが可能です。マイクをかざし、異音の音源を探索するのに役立ちます。

オプション機能 1/3リアルタイムオクターブ分析機能 LA-0702 ￥150,000(税抜き)



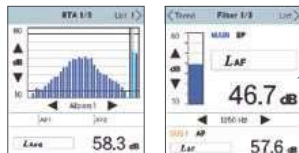
1/1オクターブ分析
よりさらに詳細に調査

適合規格: IEC 61260-1:2014 Class1/JIS C 1513-1:2020 クラス1

分析バンド: 12.5 Hz~20 kHz (33バンド), Allpass 1,2

※超低周波機能有効時は、0.8 Hz~16 kHz (45バンド) [リストのみ], Allpass 1,2

Filter 1/3モード: Filter 1/1モードと同様



異音の音源探査に
役立ちます!

オプション機能 サウンドレコーディング機能 LA-0704 ￥150,000(税抜き)



その場で
録音データが
分析できる!

メモリモード: Record

サンプリング周波数: 64 kHz

収録時間: 16 bit使用時(4 GB 約8時間)

24 bit使用時(4 GB 約5.5時間)

(注意) Oscopieで読み込む場合は、2 GBまで(LA収録データ)となります。

ファイル形式: wav. (音声データ)

csv. (再生用トレンドデータ: 1 s間隔のLZ)

分析同時収録: 各モードで分析しながら収録が可能

オフライン分析機能: 録音したデータの再演算・再分析が可能

オプション機能 超低周波音測定機能 LA-0709 ￥150,000(税抜き)

人間の耳では聞こえない超低周波音(1~20 Hz音)の計測が可能です。

測定周波数範囲: 1 Hz~20 kHz (測定モード切替により、10 Hz~20 kHzまたは、1 Hz~20 kHzの計測が可能)

周波数重み付け特性: G特性選択可能

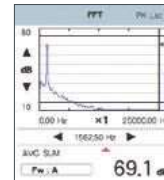
時間重み付け特性: 10 s選択可能

適合規格: ISO7196:1995 Acoustics - Frequency-weighting characteristic for infrasound measurements

対応モード: SLM(SINGLE,DUAL,QUAD)、FILTER(1/1 Filter,1/3 Filter)、RTA(1/1 RTA,1/3 RTA)、FFT

※LA-7500にのみ搭載可能です。また、ご購入済みLA-7500に装着する場合は引取対応となります。

オプション機能 FFT分析機能



オクターブバンド分析よりも周波数分解能を細かくした狭帯域解析が可能です。
トリガー機能を使い、単発音の周波数分析などに有効です。

周波数レンジ: 1 k, 2.5 k, 5 k, 12.5 k, 25 kHz

ライン数(サンプリング点数) 400 (1024), 800 (2048), 1600 (4096)

トリガー: ON/OFF 回数(1~16回)、
レベル(40.0~130 dB)、ポジショ(-64点固定)

平均モード: SUM, MAXhold, EXP (指数)

計測レンジ: ノーマルレンジ(ワイドレンジは非対応)

対応メモリ: Manual, Auto, Logging, Record

画面拡大表示(Expand): ×1, ×2, ×4

※LA-7700では、トリガーレベル(30.0~120.0 dB)

LA-0703 ￥150,000(税抜き)

オプション機能 レベル判定機能

設定値を超えない場合(緑)



超えた場合(赤)



比較対象: MainのLp瞬時値(演算値は非対応)

設定レベル: 30.0~130.0 dB

DELAY設定: OFF, 10 ms, 100 ms, 1 s, 2 s, 3 s, 5 s, 10 s

HOLD設定: 100 ms, 200 ms, 500 ms, 1 s, 5 s, 10 s, 30 s, Manual

出力モード: OFF,
ON (Mode1LOW), ON (Mode2HI-Z)

※LA-7700では、設定レベル(30.0~120.0 dB)

※出力ケーブル(Multi-BNCコネクタ) 2 m付属

LA-0705 ￥70,000(税抜き)

オプション機能 レベルシミュレータ機能

LA-0707 ￥100,000(税抜き)



気になる音がある場合に、オクターブバンドで問題となる周波数の値(レベル)を下げ、対策後の音(仮想音)を聞き、またそのオーバーオール値を求めることができるレベルシミュレータ機能がラインアップされました。対策前にシミュレーションするのに非常に有効です。

切替表示: UD(シミュレーション可変モード)もしくは、AP(原音モード)

調整範囲: -50~20 dB (1 dBステップ)

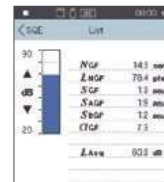
可変レベル対応: 16 Hz~16 kHz (11バンド)

表示バンド: 11バンド, Overall, Allpass (スルー)

一括編集機能: 0 dB (リセット用), -50 dB (全カット)

オプション機能 音質評価機能

LA-0708A ￥100,000(税抜き)



音質評価指標 ラウドネス・シャープネス・コンフォートインデックスが計測可能です。

使用範囲: 定常音[拡散音場(GD)、自由音場(GF)]の選択が可能

演算リスト: ラウドネス[N] / ラウドネスレベル[L, N]

(ISO532-1の定常音適合)

シャープネス[S] (DIN45692適合) [L, SA]

(Aures) [L, SB] (Bismarck)

コンフォートインデックス* [CI]

※コンフォートインデックス(CI)は、大阪大学名誉教授桑野園子先生の研究による指標です。現在も適用範囲の検討がなされており参考値としてご使用ください。

※LA-7200(クラス2)には、装着できません。



※騒音計を購入後にアップグレードする場合は、ユーザー登録をして頂き、最新のバージョンをアップグレードしてご使用下さい。
オプション追加する場合は、必ず最新バージョンにアップグレードしてからオプションを追加して下さい。

拡張商品群

オフライン解析ソフト

●音響振動解析システム O-Solution/DS-5000



LA-7000シリーズ(+LA-0704)で収録したデータ(wav形式)をO-Solutionへインポートする事でPC上で音の再生、周波数解析、オクターブ解析する事ができます。



デジタルフィルター機能(オプション)を使用することにより、収録した音を再生しながらフィルター通過後の音を試聴することも可能です。

●音質評価機能 OS-0525



LA-7500、LA-7700(+LA-0704)で収録したWAVEファイルをインポートして、ラウドネス、非定常音ラウドネス、シャープネス、変動強度など演算を行うことが出来るソフトウェアです。

●変動音解析機能 OS-0526



音質評価に「時間変動」という新概念をプラスし、周波数と変動周波数の2軸で、明快に音の素性を表現できるソフトウェアです。「ラウドネス」と「変動強度」の苦手とする領域において広く評価が可能となります。

音源可視化装置 BF-3200,MI-5420A 他

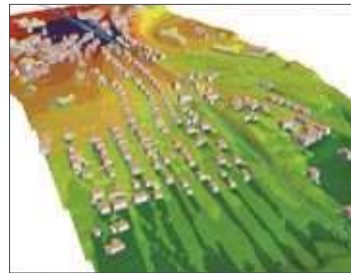


音源可視化用マイクプローブ



LA-7000シリーズでオクターブバンドパスフィルターの周波数を通した音(気になる異音)の場所を特定できる機能から、一歩進めた装置となります。気になる音(1/3オクターブバンドパスフィルターの周波数)を「可視化」することができる装置です。

環境予測ソフトウェア SoundPLAN®



ASJ CN-Model 2007 ASJ RTN-Model 2013 超低周波音帯域対応

道路、鉄道、工場などから発生する騒音がどのように伝播していくかを予測計算する音響シミュレーションソフトウェアです。ある地域に道路騒音、鉄道騒音、工場騒音、大規模小売店舗、建設工事、変電設備等、様々な騒音源が混在するような場合でも、ソフトウェアを切り替えずに複合的な計算を行うことができます。

騒音計(シンプル機能) LA-1411/1441A/4441A



このシリーズは、騒音値、平均値(Leq)、曝露量(Le)、最大値、最小値、ピーク値(Lpeak)、時間率騒音値(Ln)などが、計測できるシンプルな騒音計です。推奨校正器も、クラス1、クラス2もご用意しています。

- LA-4441A(IEC61672-1 Class1)
 - LA-1441A(IEC61672-1 Class2)
 - LA-1411(IEC61672-1 Class2)
- ※マイク延長(BNC)ケーブルは、別途となります。

音センサー(マイクロホン、プリアンプ) MI シリーズ



- MI-1271 + MI-3170 1/2インチ高性能マイク
(使用温度: -30~80℃)
(周波数範囲: 1 Hz~20 kHz)
 - MI-1235 + MI-3111 1/2インチ汎用マイク
(クラス1相当, 10 Hz~20 kHz)
 - MI-1433 + MI-3111 1/2インチ汎用マイク
(クラス1相当, 20 Hz~8 kHz)
 - MI-1531 + MI-3140 1/4インチ高性能マイク
(1/4インチ口径, 10 Hz~100 kHz)
- ※上記マイク価格にはケーブル費用は含まれておりません。

※上記製品は、別途詳しいカタログをご用意しておりますので、ご請求ください。

JCSS 校正サービス

計測器で測定された値の不確かさを保証するためには、計測器を適切な周期で校正する必要があります。校正された計測器を使用することではじめて得られた測定値の信頼性・安定性を高めることが出来ます。小野測器は、長年に渡る計測機器メーカーとしての経験とノウハウに加え、ISO 9001品質システム及びISO/IEC 17025校正を行う能力に関する一般要求事項をベースとして、信頼性の高い、高度な校正サービスをご提供しています。

小野測器は2005年12月26日に計量法第143条の計量法校正事業者認定制度JCSS(Japan Calibration Service System)により独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)から公的に認められた校正機関で、かつ国際MRAに対応していますので、ilac-MRAマークの付いた校正証明書を発行することができます。校正は宇都宮テクニカル&プロダクトセンターで行っており、計測器メーカーではトップクラスの7区分での登録を有しています。

*JCSS校正サービスについての詳細は弊社HPをご参照ください。 https://www.onosokki.co.jp/HP-WK/c_support/calibration.htm

*ilac:International Laboratory Accreditation Cooperation

※Microsoft® Windows® は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

お客様へのお願い 当社製品(役務を含む)を輸出または国外へ持出す際の注意について

当社製品(役務を含む)を輸出または国外へ持出す場合は、外為法(外国為替及び外国貿易法)の規定により、リスト規制該当品であれば、経済産業大臣へ輸出許可申請の手続きを行ってください。また非該当品であれば、通関上何らかの書類が必要となります。尚、非該当品であってもキャッチオール規制に該当する場合は、経済産業大臣へ輸出許可申請が必要となります。お問い合わせは、当社の最寄りの営業所または当社輸出管理担当窓口(電話045-476-9707)までご連絡ください。

●記載事項は変更になる場合がありますので、ご注文の際はご確認ください。



●機器を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●代理店・販売店



明伸工機株式会社

<https://www.meishin-k.co.jp/>

お問合せ先



東京営業所	03-3987-6261	名古屋営業所	052-703-1021
横浜営業所	045-326-6090	刈谷営業所	0566-70-7744
相模営業所	046-228-8611	鈴鹿営業所	059-378-9733
土浦営業所	029-824-9361	大阪営業所	06-6304-2332
宇都宮営業所	028-639-5077	滋賀営業所	077-582-8077
北関東営業所	0276-46-1092	姫路営業所	079-223-8234
甲府営業所	055-222-7868		

株式会社 小野測器

〒222-8507 神奈川県横浜市港北区新横浜3-9-3 TEL.(045)935-3888

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-388841

受付時間: 9:00~12:00 / 13:00~18:00(土・日・祝日を除く)

北 関東 (028)684-2400 浜 松 (053)462-5611 九 州 (092)432-2335
埼 玉 (048)474-8311 中 部 (0565)41-3551 海 外 (045)476-9725
首都圏 (045)935-3838 関 西 (06)6386-3141
沼 津 (055)988-3738 広 島 (082)246-1777

ホームページアドレス | <https://www.onosokki.co.jp/>

E-mailアドレス | webinfo@onosokki.co.jp